

令和6年9月20日

中津川市職員の業務ツールとして 「自治体向け生成AI」を導入します

業務の効率化を図るとともに、削減できた時間を市民サービスの向上に充てるため、中津川市職員の業務ツールとして「自治体向け生成AI」を導入します。

■導入日

令和6年10月1日(火曜日)

■利用対象者

中津川市役所全職員(正規行政職員約800人)

■導入する生成AI

自治体 AI zevo(ゼヴォ) (提供元:シフトプラス株式会社)

■自治体向け生成AIの特長

- ・LGWAN環境(総合行政ネットワーク)で安全に利用可能である。
- ・職員の指示内容や生成された回答が他の利用者に引用されず、意図しない情報漏洩を 防ぐことができる。
- ・個人情報は自動で検知し、マスキング処理される。

■想定している活用例

- ①文章作成
 - ・文案の作成(挨拶文、メール文)
 - 文章校正、添削、要約
- ②企画提案
 - 条件や目的に沿ったアイデア出し
- ③コード作成
 - ・Excel 関数生成、VBAの生成

■導入の経緯

- ・「中津川市生成AI利用ガイドライン」を令和6年7月19日に策定し、生成AIの利用環境を整備
- ・業務への活用を検討するため、複数の職員で実証実験を実施
- 効果検証後、本格導入を決定

お問い合わせ先

総務部 DX推進課 担当者:吉村、安江

電話:0573-66-1111 (内線 665)